

租税管理機構に依頼する?

問 歳入の滞納繰越分の四五九一万円は租税管理機構に依頼するののか。

答 人口割で二十件まで委託できます。平成十八年度はまだ決まっています。

顧問弁護士委託料の予算は六三万円

問 顧問弁護士委託料の内容は。

答 月五万円で年間六〇万円に一・〇五を掛け、六三万円の予算です。

少なくないか、遺族会の補助金

問 遺族会の補助金が三五万円では少なくないか。

答 遺族会も高齢化をしており、慰霊祭に出していく方向で進めます。

消防ポンプ車の配分

問 消防ポンプ車購入費に二六四〇万円組まれているが、何分団に配分するののか。

答 元岩瀬地区の四分団と亀岡地区の十五分団です。

同和関係補助金

問 同和関係補助金が五項目出ているが。

答 組織の活動内容が違うので出しています。

市民祭補助金の内容

問 市民祭実行委員会補助金ほどのような内容か。

答 今まで毎年秋に行っていました岩瀬・大和両地区の市民祭の費用です。

桜川市の職員数について

問 桜川市の職員は臨時を含め、現在五三七人おり、市長は十年間で四〇〇人にする、とのことだったが、人件費削減に反映されてくるのか。

答 十八年度は四九三人で、参考ですが十年後までには一八〇人の定年退職者が出るかと予測しています。

タイムレコーダー、リースは…

問 タイムレコーダーのリース料が三二万四〇〇〇円とある。三万五〇〇〇円くらいで購入できるのに、むだではないか。

答 磁気カードを使い、パソコンを利用したリース料です。五年リースのため、今後検討します。

施設の利用時間延長は必要

問 合併してから夜の施設利用が九時から十時に延ばされたが、費用のむだではないのか。

答 利用が九時以降なければ協議して変更します。

統計調査費委託金

問 統計調査費委託金の常住人口調査とは。

答 市町村から毎月、人口・世帯数の異動状況を報告しているものです。

選挙の投票時間

問 一般選挙の投票時間と予算は。

答 午前七時から午後八時まで、十三時間で計上しています。

その他

商工会の位置づけ

問 桜川市商工会の位置づけをどうするのか。

答 桜川市という形で一本化が望ましいと考えています。

つくば急行バスの利用状況

問 つくば急行バスが運行を開始して半年経過したが、利用状況は。

答 八月二十四日に開通し、九月は一日平均一三一人、十月は一日平均九十七人、十一月は八十一人が利用しています。桜川地区の利用としては、一日平均四十四人です。

ねんりんピックの負担金

問 ねんりんピック茨城2007負担金の内容は。
答 十九年度に高齢者スポー



桜川市とつくばTXをつなぐ急行バス

ツ・文化の祭典として茨城県で開催されます。そのソフトボール会場が桜川市のため、実行委員会を設置し、大会を成功させるため、リハーサル大会を開催する費用です。

「ねんりんピック」全国総合福祉祭の愛称。厚生省創立五十周年を記念して、昭和六十三年に兵庫県で第一回が開催されました。平成十九年度に茨城県で開催されるねんりんピックは第二十回大会です。



す。土地の該当件数は三十件で契約率二六・七％、物件の家屋数は六十六件で契約率は五〇％です。

問 岩瀬駅前都市再生計画の面積が変更になっている件と、駅前富谷線は市道か県道か。

答 面積は当初の二・四ヘクタールから、二・六ヘクタールに変更になっています。道路は県道ですが、整備のため市道としても認定しました。

問 昭和五十二年に決定された岩瀬駅前道路の計画の「西七割、東三割」が、現在では「西六割、東四割」になっているが。

答 都市計画道路の決定は、昭和五十四年十二月六日になされています。

建設

アスベスト除去の対象は

問 アスベスト除去対策はこの施設か。

答 大和庁舎の機械室と岩瀬庁舎の機械室です。

公営住宅、御領団地に二棟建設

問 住宅建設費の内容は。

答 御領西団地に二棟建てます。内訳は老人単身が四戸、老人世帯が四戸、一般世帯が十六戸です。

借地代の見直しを

問 バブル絶頂期に決めた土地の借地代を見直すべきではないか。

答 今後できるだけ検討し、相手があることでもあり、長い目で見ていただきたいと思います。

水道

水道事業について問う

問 水道事業への一般会計からの繰り出しは。

答 一般会計の繰出金に頼らず留保資金で対応します。

問 石綿管の布設替工事費は。

答 布設替工事は企業債で対応したいと考えています。

問 桜川市で買い受けている原水単価が高いので、水道料金に影響している。県西用水給水単価の低下を要望すべきだ。

答 県の企業局には減額要請はしています。今後も根気よく県へ働きかけていきます。

問 水道料金は県西用水の負担が大きいのでは。

答 県西用水の契約水量の見直しを十八年度に行いたいと考えています。

問 三地区の水道使用を普及する啓蒙活動が重要ではないか。

答 三水道事業の統合による配水管の接続を踏まえ、水道水の安全性についてPRを進めます。

行財政

地方交付税の増減で十八年度六・九％減

問 地方交付税の十七年度と今年度の見込みは。

答 三町村合計で十七年度が五〇億四八〇〇万円。十八年度は四七億円で六・九％の減です。

本年度の基金繰入金は

問 旧三町村の十七年度基金繰入金の比較増減は。

答 十七年度は、一五億五八九七万八〇〇円でしたが、本年度は一〇億四三九七万二〇〇円です。

利子補給補助金

問 中小企業事業資金保証料及び利子補給補助金の積算根拠は。

答 算出基礎は想定が難しいので、十七年度の決算に基づいて算出しました。

合併特例債事業の内容は

問 合併特例債事業では何をやるのか。

答 岩瀬では岩瀬駅の跨線橋、都市計画道路の松田・西小高線の整備、つくば益子線の整備、大和ではつくば益子線の本木地区のバイパス化、真壁では多目的総合施設の整備、上曾トンネル付近の整備、埋蔵文化センターの整備を考えています。